

飛躍の子

2026年7月16日(木)第8号



先端技術にふれ、貴重な体験ができました

7月10日(金)先端技術体験として三谷産業に出かけました。AIや3Dデザインなど新しい技術にふれる貴重な学習の機会となりました。みなさんが一生懸命に学ぼうとする姿がみられ、とてもうれしかったです。これからも、学年としての“できる”を積み重ねていきましょう。

みんなの感想から

僕は今回学んだことが2つあります。

一つ目は AI のすごさです。自分がこうやって作れと指示したら本当に理想通りに作ってくれてすごかったです。しかも一瞬で作ってくれてある意味怖かったです。

二つ目は AI の怖さです。便利だけど、だからこそ敵に回したら怖いと思います。悪い人にまわったと思うとゾッとします。これから使い方に気をつけたいです。
(1組 今枝 大和)

まずマンホールを作りました。今は AI に任せればいける時代だと知って作ってみたけど、AI に伝えるのも難しくて苦戦しました。次にゲームを作りました。これも AI に伝えるのが難しかったけど、楽しかったです。AI をはすごいけど、人間も必要だと分かりました。
(4組 津田 夢太)

大体のことを伝えるだけでゲームを作ってくれたり、最初に指示を出したら正しく AI を使えたりすることが分かってすごいと思った。AI でイラストを描けたり文章も作れて、こんな世界だからこそ、人間にしかできない、自分で考えることや感情を大切にしていきたいと思った。
(3組 平田 環奈)

自分は、プログラミングや動画の編集、スライドなどがとにかく好きで、今回の体験はすごく楽しみでした。自分はゲームが大好きで、最近ハマっているバスケのゲームを作ってみたけど、AI が指示通りに動いて、たった数年でここまで簡単につくれるようになって AI のすごさを実感しました。

貴重な体験ありがとうございました。

(2組 柿 蓮央)



私は機械を扱うことが苦手だったけれど、AI に対して伝わるよう簡潔に分かりやすく説明し、試行錯誤していくところが難しかったですが、とても楽しかったです。説明していったてきあがっていくゲームに完成はないなと思ったし、つきつめていくことの達成感を味わうことができました。AI の進化を深く知ることができ、上手く使えるようにがんばっていきたい。
(2組 下村 和花)

先端技術体験はもっと難しいと思っていたけど、誰にでもできるようなくみになっていて、すごく楽しかったです。パソコンで作った形やものを、実際にすぐ作ることができておもしろかったです。自分の好きなアプリを作ったり、AI に命令したりして作っていくところが、いろんな人に興味がわきそうだなと思いました。
(3組 福岡 樹里)

マンホールの絵柄を考えるのは、AI に条件を伝えれば簡単に考えられるけど、付加してほしくない条件もちゃんと伝えないと納得のいく作品ができないことが分かりました。Gemini や CHAT GTP など AI は頼れるものだけど、正しくないこともあるので、気を付けて使う必要があると思いました。(4組 宮田 栞)

アプリの作り方や AI のことなど学べてすごくいい経験になりました。自分の作りたいアプリの特徴を打てばそのアプリを作ってくれて、そのアプリで遊んで試行錯誤してさらによいアプリを作るのが楽しかったです。
(1組 橘 遼)

一番心に残ったのは AI を使って自分でゲームを作ったことで、作ったものを楽しむ立場から自分で作って楽しむという、とても興味のある内容だったからです。こういうところで働くのもありだなと思いました。

もう一つの活動では、グループで協力しあい、それぞれの意見をまとめた金沢らしさの出たプレートができて、チームワークを感じました。

(2組 松田 晴太)

バイブコーディング体験では、AI にアプリを作らせることができるといいと思いました。3D デザイン体験では、レーザーカッターでだんだんと完成していくところをみてすごかったです。

全体的にマナーを守って体験学習をすることができていたので、これからも続けるようになっていきたいです。

(1組 飯田 小陽)

私は先端技術体験をして、改めて AI ってすごいなと思っていました。AI を使ったら自分では思いつかないようなデザインを考えてくれて、とてもいいなと思いました。アプリを考えるのはわくわくしました。自分で作っていくのが楽しかったです。

(3組 大松 穂莉)

今の AI はすごいなと思いました。でも、AI は使い方を考えないといけないことも、今回の学習で再度分かりました。イラストを AI 学習させてパクリとかよく聞くので、個人個人、AI などの使い方をしっかり見直さないと、と思いました。

(4組 畝林 明日香)



1 学期の校長賞

1 学期中間

1組	住田 陽菜	平本 愛佳
2組	舟木 美結	山本 舞
3組	小浦 利晃	駒澤 あゆみ
4組	岡山 桜太朗	藤田 稀子

1 学期期末

1組	押田 彩伽	勝木 颯太
2組	大橋 成正	中川 実咲
3組	浜谷 琶子	吉竹 大和
4組	荒木 悠花	伊藤 奏

1 学期の校長賞は上記のみなさんでした。おめでとうございます。がんばりが認められましたね。ここで再度、校長賞の選考基準を確認しておきます。

- ・成績や学習の取り組みが優秀である
- ・テスト前、チャレンジノート 30 ページ以上達成している
- ・基本的生活習慣がきちんと身についている
- ・授業態度、係活動、清掃態度が良好である

テストの点数だけではなく、普段の学習への取り組みの様子や日頃の生活態度も評価の対象になっています。2 学期、3 学期とあと 4 回チャンスがあります。みなさんもがんばってみましょう。

また、1 学期のチャレンジノート 30 ページ達成者の人数は、

中間テストでは 91 人 (62%)

期末テストでは 116 人 (80%)

多くの人が達成することができました。がんばっている人がたくさんいることがとてもうれしいです。夏休みにもチャレンジノート 30 ページ以上という課題があります。毎日の積み重ねは絶対に無駄ではありません。これからも続けていきましょう。